

学校推薦型選抜用  
入学者選抜要項  
[2024年度]



静岡理工科大学

## 目 次

募集人員、入学者選抜日程	p1	出願書類の記入例	
書類を利用した試験科目とその評価について	p2	志願票	p21
入学者選抜要項		活動報告書	p22
指定校推薦	p3	志望理由書	p24
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	p4		
公募制一般推薦	p5	<b>【出願書類】</b>	
公募制自己推薦	p6	推薦書(様式A)	
給費型奨学生制度	p7	活動報告書(様式B)	
出願について	p8	志望理由書(様式C)	
入学検定料の支払いについて	p9	入学志願票(学校推薦型選抜)	
入学検定料の割引制度について	p9	個人情報の取扱いについて	巻末
試験会場案内	p9		
受験票について	p10		
受験上の注意	p10		
入学検定料支払い方法のご案内	p11		
可否案内サービス(PASS-TEL)について	p12		
入学手続について	p13		
日本学生支援機構の給付奨学金について	p13		
建学の精神と基本理念	p14		
アドミッションポリシー	p14		
カリキュラムポリシー	p16		
ディプロマポリシー	p18		

# 募集人員

学部・学科・専攻	選抜区分 選抜種別	募集 定員	学校推薦型選抜					総合型 選抜	一般選抜							特別 留学生 社会人 帰国生
			指定校 推薦	専門 総合 給費 奨学生 推薦	公募制 一般 推薦	公募制 自己 推薦	公募制 給費 奨学生		本学一般 入学者選抜		一般入学者選抜 + 共通テストプラス		共通テスト利用 入学者選抜			
									前期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (A) (B)	後期 (A) (B)	前期 (S) (A)(B)	中期 (A) (B)	後期 (A) (B)	
理工 学部	機械工学科	80	20	13	8	3	30	3	15	4	2	2	11	2	2	2
	電気電子工学科	70	18		7	3		3	12	4	2	2	7	2	2	2
	物質生命科学科	60	16		6	2		3	9	3	2	2	5	2	2	2
	建築学科	50	12		3	2		3	7	2	2	2	5	2	2	2
	土木工学科	50	12		3	2		3	7	2	2	2	5	2	2	2
情報 学部	※学部一括募集	140	32		14	5		5	24	6	2	2	29	3	3	2
	内、データサイエンス専攻	(15)	—	—	—	—	(3)	—	—	—	—	—	(S) (A) (10)	(A) (1)	(A) (1)	—
合計		450	110	13	41	17	30	20	74	21	12	12	62	13	13	12

## 2024年度生 入学者選抜日程

区分	学部	入学者選抜種別	試験日	試験会場	出願方法	出願期間	結果通知日	入学金 納入締切日
学校推薦型選抜	理工	指定校推薦	11月18日(土)	本学	郵送	2023年11月1日(水)～11月9日(木) 消印有効	12月1日(金)	12月21日(木)
		専門高校・総合学科給費奨学生推薦						
		公募制一般推薦						
		公募制自己推薦						
		公募制給費奨学生	12月16日(土)	本学	WEB	2023年11月27日(月)～12月7日(木) 正午まで	12月22日(金)	2月26日(月)
本学一般	理工	一般前期(A)・(B)	2月3日(土) 2月4日(日) 2月5日(月)	本学 沼津 静岡 名古屋 *1	WEB	2024年1月5日(金)～1月21日(日) 正午まで	2月17日(土)	2月26日(月)
		一般後期(A)・(B)	3月7日(木)	本学	WEB	2024年2月19日(月)～3月3日(日) 正午まで	3月19日(火)	3月25日(月)
*2 共通テストプラス	理工	一般前期(A)・(B) 共通テストプラス	一般前期を 受験すること		WEB	2024年1月5日(金)～1月21日(日) 正午まで	2月17日(土)	2月26日(月)
		一般後期(A)・(B) 共通テストプラス	一般後期を 受験すること		WEB	2024年2月19日(月)～3月3日(日) 正午まで	3月19日(火)	3月25日(月)
大学入学共通テスト利用	理工	前期共通テスト利用(S)	個別試験は 課さない	-	WEB	2024年1月5日(金)～1月12日(金) 正午まで	2月17日(土)	2月26日(月)
		前期共通テスト利用(A)	個別試験は 課さない		WEB	2024年1月5日(金)～1月28日(日) 正午まで	2月17日(土)	2月26日(月)
		前期共通テスト利用(B)	個別試験は 課さない		WEB	2024年2月1日(木)～2月18日(日) 正午まで	3月2日(土)	3月18日(月)
		中期共通テスト利用(A)						
		中期共通テスト利用(B)	個別試験は 課さない		WEB	2024年2月19日(月)～3月9日(土) 正午まで	3月19日(火)	3月25日(月)
		後期共通テスト利用(A)						
後期共通テスト利用(B)								

\*1 試験日により実施会場が異なる。一般選抜用入学者選抜要項及び本学 WEB サイト参照。

\*2 共通テストプラスは、同時期の本学一般の受験結果に2024年の大学入学共通テストの対象教科の結果を1科目プラスして判定を行う。

# 書類を利用した試験科目とその評価について

審査に使用する書類（調査書を除く）は本誌添付の様式を利用するか、本学WEBサイト入試情報より、書式データをダウンロードすること。

## □ 書類審査A(調査書)の評価

全体の学習成績の状況に基づき評価を行う。配点は選抜種別により異なる。

例：配点15点の場合は「全体の学習成績の状況」を3倍、30点の場合は6倍する

ただし、コロナウィルス感染症に伴う臨時休業により、条件とする時期の全体の学習成績の状況の記載ができない場合は、出願時点において記載できる最も新しい全体の学習成績の状況に読み替えるものとする。

## □ 書類審査B(推薦書)の評価

学力の3要素に関する記載内容について3段階で評価する。

## □ 活動報告書の評価 p22-23の「活動報告書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式B)に記載された次の項目【評価点各1点】についての評価を行う。

基本各1点、配点は選抜種別により異なる。

例：配点20点の場合は評価点を4倍する

- I 高度な技術や能力を持つ者(資格・検定)
- II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者
- III 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者(発表会・コンテスト・競技会)
- IV その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者
- V プラス評価 上記4項目の内、同一項目内に複数の違う分野での活動実績が認められる者に【評価点1点を加点】する

## □ 志望理由書の評価 p24の「志望理由書記入例」を確認すること

本学指定用紙(様式C)に400字以内で記載。

将来の目標に対して、本学に進学する目的、興味のある研究や行きたい研究室を含めての記載を求める。

なお、以下の選抜種別において、次の対象者のみ志望理由書を書類審査Cとし、記載の内容を3段階で評価する。

### ● 公募制 自己推薦【配点30点】

【対象】 全体の学習成績の状況の記載がない書類(卒業証明書、成績証明書、合格成績証明書等)を提出した者。

# 指定校推薦

## 募集学部・学科 \*募集人数はp1参照のこと

[理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)

[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

## 出願資格

以下の条件を充たす者

- 本学が指定する高等学校を2024年3月に卒業見込みの者
- ※他の資格については各高等学校に確認のこと。

## 選考日程

選考区分	出願期間(締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
指定校推薦	2023年11月1日(水)～11月9日(木)	11月18日(土)	12月1日(金)	12月1日(金)～12月21日(木)

## 選考会場 本学会場(静岡理工科大学:袋井市豊沢2200-2) p9参照

## 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

## 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学科希望者の試験開始は9:30、その他学部学科希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数I・数A(場合の数と確率)】記述式問題を含む	100点	11:30 - 12:30	60分
面接	個人面接	100点	13:30 - 順次	5分
書類審査A(調査書)	全体の学習成績の状況×10	50点	—	
書類審査B(推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	30点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験(建築学科のみ)	デッサン:①静物、②観察力 ※本学WEBサイト入試情報内の「建築学科実技試験について」を参照のこと	50点	9:30 - 11:00	90分

## 出願書類 p8「出願について」を確認すること

- 入学志願票 本学所定の用紙[学校推薦型選抜]
- 入学検定料 30,000円
  - ①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
  - ②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- 推薦書 本学所定の用紙—様式A
- 活動報告書 本学所定の用紙—様式B
- 志望理由書 本学所定の用紙—様式C

## 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp10を参照のこと。

## 結果通知

- 合格者には結果通知日(12月1日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を簡易書留速達郵便で送付する。
- 本学構内での掲示による発表は行わない

# 専門高校・総合学科 給費奨学生推薦

☆給費型奨学生制度対象入学者選抜 (p7 参照)

## □ 給費型奨学生採用区分と枠

- ・ 授業料 50 万円給費奨学生 本学全体で 3 名以内 (最大 4 年間 200 万円給費\*更新条件有)
- ・ 入学金 30 万円給費奨学生 本学全体で 10 名以内 (入学時)
- ・ 奨学生採用枠から漏れた場合は原則指定校推薦の基準で合否判定する

## □ 募集学部・学科 \*募集人数はp1参照のこと

[理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科 (学科単位の募集)

[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科 (学部一括募集)

## □ 出願資格 以下の条件を充たす者

- ・ 専願であること (他校との併願不可。ただし、12 月末までに結果が判明する国公立大学学校推薦型選抜・総合型選抜との併願は可)
- ・ 高等学校の専門学科や総合学科を 2024 年 3 月に卒業見込みの者
- ・ 在籍校の学校長が推薦する者
- ・ 在籍校の最終年次 1 学期 (前期末) までの全体の学習成績の状況が 4.0 以上の者  
なお、コロナウィルス感染症に伴う臨時休業により、全体の学習成績の状況の記載ができない場合は、記載できうる最新の全体の学習成績の状況に読み替え可

## □ 選考日程

選考区分	出願期間 (締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
専門高校・総合学科給費奨学生推薦	2023年11月1日(水)～11月9日(木)	11月18日(土)	12月1日(金)	12月1日(金)～12月21日(木)

## □ 選考会場 本学会場 (静岡理工科大学: 袋井市豊沢2200-2) p9参照

## □ 選考基準

高等学校での専門学科や総合学科における専門科目の学修状況や活動状況を確認し、奨学生として相応しい学力を有するかを判定する。

## □ 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

● 建築学科希望者の試験開始は 9 : 30、その他学部学科希望者の試験開始は 11 : 30 とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数 I・数 A (場合の数と確率)】記述式問題を含む	100点	11 : 30 - 12 : 30	60分
面接	個人面接	100点	13 : 30 - 順次	10分
書類審査 A (調査書)	全体の学習成績の状況×10	50点	—	
書類審査 B (推薦書)	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	30点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 (建築学科のみ)	デッサン:①静物,②観察力 ※本学WEBサイト入試情報内の「建築学科実技試験について」を参照のこと	—	9 : 30 - 11 : 00	90分

## □ 出願書類 p8「出願について」を確認すること

- ・ 入学志願票 本学所定の用紙 [学校推薦型選抜]
- ・ 入学検定料 30,000 円  
①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付  
②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- ・ 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- ・ 推薦書 本学所定の用紙—様式 A
- ・ 活動報告書 本学所定の用紙—様式 B
- ・ 志望理由書 本学所定の用紙—様式 C

## □ 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp10を参照のこと。

## □ 結果通知

- ・ 合格者には結果通知日 (12 月 1 日) 当日、合格通知書 (入学手続関係書類含む) を簡易書留速達郵便で送付する。
- ・ 本学構内での掲示による発表は行わない
- ・ 給費型奨学生に採用された場合には、その旨と採用区分が合格通知書に記載される

# 公募制 一般推薦

## 募集学部・学科 \*募集人数はp1参照のこと

【理工学部】 機械工学科、電気電子工学科、物質生命工学科、建築学科、土木工学科（学科単位の募集）

【情報学部】 コンピュータシステム学科、情報デザイン学科（学部一括募集）

## 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者で、在籍校の学校長が推薦する者

- 高等学校（中等教育学校を含む）を2024年3月に卒業見込みの者
- 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを2024年3月31日までに修了見込みの者

## 選考日程

選考区分	出願期間（締切日消印有効）	試験日	結果通知日	入学手続期間
公募制 一般推薦	2023年11月1日(水)～11月9日(木)	11月18日(土)	12月1日(金)	12月1日(金)～12月21日(木)

## 選考会場 本学会場（静岡理工科大学：袋井市豊沢2200-2） p9参照

## 選考基準 高等学校での学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

## 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学科希望者の試験開始は9：30、その他学部学科希望者の試験開始は11：30とする。

試験項目	内容	配点	時間	
学力試験	数学基礎【数Ⅰ・数Ⅱ（場合の数と確率）】記述式問題を含む	100点	11：30 - 12：30	60分
面接	個人面接	50点	13：30 - 順次	5分
書類審査A（調査書）	全体の学習成績の状況×3	15点	—	
書類審査B（推薦書）	学力の3要素の記載内容について3段階で評価	15点	—	
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—	
志望理由書	指定用紙に400字以内にまとめ提出	—	—	
実技試験 （建築学科のみ）	デッサン：①静物、②観察力 ※本学WEBサイト入試情報内の「建築学科実技試験について」を参照のこと	50点	9：30 - 11：00	90分

## その他 学部を問わず、第2志望学科（もしくは学部）まで志願票へ記入することができる。他大学との併願可。

## 出願書類 p8「出願について」を確認すること

- 入学志願票 本学所定の用紙 [学校推薦型選抜]
- 入学検定料 30,000円
  - ①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付
  - ②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- 推薦書 本学所定の用紙—様式A
- 活動報告書 本学所定の用紙—様式B
- 志望理由書 本学所定の用紙—様式C

## 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp10を参照のこと。

## 結果通知

- 合格者には結果通知日（12月1日）当日、合格通知書（入学手続関係書類含む）を簡易書留速達郵便で送付する。なお、不合格者には通知しないので注意すること
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス（PASS-TEL）」でも通知。利用方法についてはp12を参照すること

# 公募制 自己推薦

## 募集学部・学科 \*募集人数はp1参照のこと

- [理工学部] 機械工学科、電気電子工学科、物質生命科学科、建築学科、土木工学科（学科単位の募集）  
[情報学部] コンピュータシステム学科、情報デザイン学科（学部一括募集）

## 出願資格 次の(1)(2)(3)いずれかの条件を充たす者

- (1) 高等学校(中等教育学校を含む)を卒業した者及び2024年3月に卒業見込みの者  
(2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者及び2024年3月に卒業見込みの者  
(3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者  
で、次の①～⑥のいずれかに該当する者  
① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者  
② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2024年3月末までに修了見込みの者  
③ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者  
④ 文部科学大臣の指定した者  
⑤ 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定含む)に合格した者及び2024年3月末までに合格見込みの者で2024年3月31日までに18歳に達する者  
⑥ 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2024年3月31日までに18歳に達する者

## 選考日程

選考区分	出願期間(締切日消印有効)	試験日	結果通知日	入学手続期間
公募制 自己推薦	2023年11月1日(水)～11月9日(木)	11月18日(土)	12月1日(金)	12月1日(金)～12月21日(木)

## 選考会場 本学会場(静岡理科大学:袋井市豊沢2200-2) p9参照

## 選考基準 これまでの学修や活動状況を確認し、大学入学後の目標や学習に支障のない基礎学力を有するかを判定。

## 選考方法と試験時間 以下項目にて受験した者を判定する。書類を利用した評価についてはp2を参照のこと。

- 建築学科希望者の試験開始は9:30、その他学部学科希望者の試験開始は11:30とする。

試験項目	内容	配点	時間
学力試験	数学基礎【数I・数A(場合の数と確率)】記述式問題を含む	100点	11:30 - 12:30 60分
面接	個人面接	50点	13:30 - 順次 5分
書類審査A(調査書)	全体の学習成績の状況×6	30点	—
活動報告書	指定用紙の評価4項目に該当する事項を記入	20点	—
書類審査C(志望理由書)	指定用紙に400字以内にまとめ提出	p2参照	—
実技試験 (建築学科のみ)	デッサン:①静物, ②観察力 ※本学WEBサイト入試情報内の「建築学科実技試験について」を参照のこと	50点	9:30 - 11:00 90分

## その他 学部を問わず、第2志望学科(もしくは学部)まで志願票へ記入することができる。他大学との併願可。

## 出願書類 p8「出願について」を確認すること

- 入学志願票 本学所定の用紙[学校推薦型選抜]
- 入学検定料 30,000円  
①コンビニで納付した場合は「収納証明書」を貼付  
②銀行振込で納付した場合は「取扱銀行収納印」の押印を確認
- 調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。既卒者は成績証明書も可。  
高等学校卒業程度認定試験の合格(見込)者は「合格(見込)成績証明書」を提出のこと。
- 活動報告書 本学所定の用紙一様式B
- 志望理由書 本学所定の用紙一様式C

## 受験票 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。詳細はp10を参照のこと。

## 結果通知

- 合格者には結果通知日(12月1日)当日、合格通知書(入学手続関係書類含む)を簡易書留速達郵便で送付する。  
なお、不合格者には通知しないので注意すること
- 本学構内での掲示による発表は行わない
- 合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス(PASS-TEL)」でも通知。  
利用方法についてはp12を参照すること



# 静岡理工科大学 給費型奨学生制度 (返還義務なし)

対象となる選抜種別内での成績が特に優秀な受験生に対し、勉学奨励を目的として、授業料給付等の特典が与えられる奨学生制度。

## □ 奨学生採用区分と対象入学選考・枠

### ■ 授業料 100 万円給費奨学生【授業料サポート 100】

\*最大4年間400万円給費(学年末に更新審査有:継続条件—在籍学科の成績上位20%以内)

#### ● 対象選抜種別と採用枠

- 「一般前期 (A)」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- 「一般前期 (A) 共通テストプラス」の成績優秀者として成績上位の者を採用
- 「前期共通テスト利用 (S)」及び「前期共通テスト利用 (A)」の成績優秀者として成績上位の者を採用  
【採用枠:上記選考より最大30名】

### ■ 授業料 50 万円給費奨学生【授業料サポート 50】

\*最大4年間200万円給費(学年末に更新審査有:継続条件—在籍学科の成績上位25%以内)

#### ● 対象選抜種別と採用枠

- 「専門高校・総合学科給費奨学生推薦」の成績優秀者【採用枠:3名以内】
  - 「公募制 給費奨学生」の成績優秀者【採用枠:最大30名以内】
  - 「前期共通テスト利用 (S)」の合格者の内、合計得点率60%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
  - 「前期共通テスト利用 (A)」の合格者の内、合計得点率65%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】
- ★データサイエンス専攻のみ中期・後期共通テスト利用 (A) も対象

### ■ 入学金 30 万円給費奨学生【入学金サポート】 \*入学手続きのみ

#### ● 対象選抜種別と採用枠

- 「専門高校・総合学科給費奨学生推薦」の成績優秀者【採用枠:10名以内】

### ■ 入学応援金 10 万円給費奨学生【入学応援給費】 \*入学手続きのみ

#### ● 対象選抜種別と採用枠

- 「前期共通テスト利用 (S)」及び「前期共通テスト利用 (A)」の合格者の内、合計得点率55%以上の者を採用【採用枠:人数制限なし】

## □ 給費奨学生チャレンジ制度

### ■ 給費型奨学生 全学部・全学科

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦といった学校推薦型選抜や、総合型選抜の合格者が、入学の権利を保持した(入学手続き完了者の)まま、給費型奨学生の対象選考【公募制給費奨学生、一般前期(A)、一般前期(A)共通テストプラス、前期共通テスト利用(S)、前期共通テスト利用(A)】にチャレンジできる制度を導入。この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

### ■ コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

学校推薦型選抜や総合型選抜の情報学部合格者は、入学の権利を保持した(入学手続き完了者の)まま、データサイエンス専攻の対象選考【前期共通テスト利用(S)、前期共通テスト利用(A)、中期共通テスト利用(A)、後期共通テスト利用(A)】にチャレンジすることも可能。

この制度で給費型奨学生に採用された場合には、納入済みの費用の差額が返還される。

# 出願について

## ■ 学校推薦型選抜

指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦については、**志願票を利用して出願**すること

## ■ 志願票の記入について

- ①記入例 (p21) を参照のうえ、黒ボールペンで正確に記入すること。
- ②記入間違いをした場合には、修正液・テープや二重線を引くなどして明確な訂正をすること。  
ただし、入学検定料金額の修正は、銀行窓口においての通常取扱いができないので注意すること。
- ③氏名に使用する漢字はコンピュータで管理するため、JIS第2水準以内に限定されることから、記入された漢字を使用できず、類似するものに置き換える場合がある。  
(例 吉→吉、邦→邦、乗→桑 など)
- ④出願後の志望学科の変更は認めない。
- ⑤高校コードについては9月以降、本学WEBサイト(入試情報ページ)から確認すること。

入試情報ページ：<https://www.sist.ac.jp/about/ex/index.html>

## ■ 本学内における併願のルールについて

- ・ 指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦については、1つの学部・学科のみに出願可。
- ・ 公募制一般推薦、公募制自己推薦では、第2志望まで選択可。

## ■ 出願上の注意

各選考ページの出願書類の欄を参照し、出願すること。  
出願書類に不足または不備がある場合および期限を過ぎたものは受理できない。  
結果の通知を出身高等学校等に行うことを了承すること。  
一旦受理した書類はいかなる事由においても返還できない。

## ■ 入学検定料支払いに際しての注意

「コンビニ納付」「銀行窓口納付」いずれの場合も振込手数料は本人負担となること。  
一旦納入した入学検定料はいかなる事由においても返還できないこと。  
領収書など志願者が保管すべき書類は大切に保管すること。

## ■ 出願方法



## □ 入学検定料の支払いについて

入学検定料は次のいずれかで支払うこと。

### ■ コンビニエンスストアを利用する場合(詳細はp11参照のこと)

p11を参照のうえ、コンビニにある端末で必要情報を入力し、出力された用紙(「払込票」、「申込券」)を基にレジにて検定料を支払うこと。支払い後、「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」を必ず受取ること。「収納証明書」部分を切り取り、「入学志願票-①」の《コンビニ「収納証明書」貼付欄》に糊付けすること。  
\* 出願受付締切日の検定料支払い受付は23時までとなります。

### ■ 銀行の窓口を利用する場合

本学指定の入学検定料「振込依頼書(入学志願票下部-③)」を使用し、銀行窓口より「電信扱い」にて振込むこと。振込後、手元に戻された「入学志願票-①」、「振込金受取書-②」に「取扱銀行収納印」が押印されていることを確認すること。

## □ 入学検定料の割引制度について

本学では、受験に掛かる費用の負担軽減を鑑み、入学検定料の割引制度を導入。

本学における初めての入学選考出願後、以降の選考への出願や同時期での別日程や複数学科への出願をした場合などに「**本学試験グループ**」で入学検定料が5,000円に割引かれる制度や「**共通テスト利用グループ**」で追加受験料が必要ない制度(一般選抜用入学者選抜要項参照)を設置。詳細については、以下を確認のこと。

## □ 入学検定料(基本)

### ■ 選考区分「本学試験グループ」 初回出願 30,000円(2回目以降の出願は5,000円に割引)

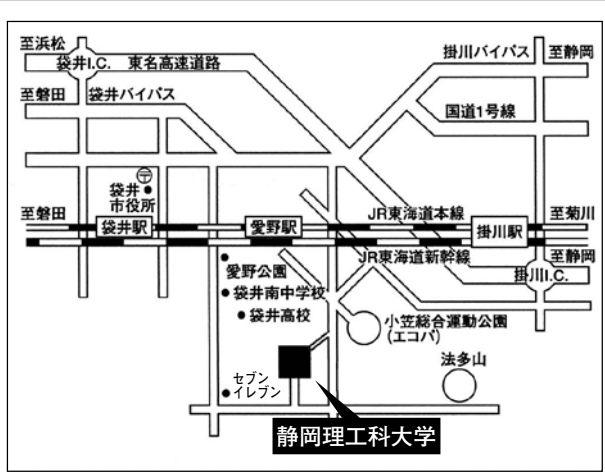
- ・ 初 回- 指定校推薦、専門高校・総合学科給費奨学生推薦、公募制一般推薦、公募制自己推薦、総合型選抜
  - ・ 2 回目- 12月以降の共通テスト利用以外の選抜
- ※詳細は一般選抜用入学者選抜要項をご確認ください。

# 試験会場案内

## ■ 本学会場

指定校推薦	11/18(土)
専門高校・総合学科 給費奨学生推薦	
公募制 一般推薦	
公募制 自己推薦	

**本学会場**



**会場** 静岡理科大学 静岡県袋井市豊沢2200-2

**交通** ・JR「愛野」駅南口よりシャトルバスで約6分  
・バスの運行時間(JR愛野駅南口→本学)については受験票または本学WEBサイトで確認すること。

# 受験票について

- ① 受験票は入学志願票受理後、受付順に本学より送付。
- ② 受験票の記載事項が正しいか確認すること。  
(氏名、フリガナが間違っている、出願内容と異なっている場合には入試本部 (TEL0538-45-0118) へ電話をして、訂正を申し出ること。)
- ③ 写真貼付欄への写真 (縦4cm×横3cm) は3ヶ月以内に撮影したものとし、裏面に氏名、高校名、生年月日を記入のうえ、貼付すること。
- ④ 試験当日、受験票を必ず持参すること。忘れたり紛失した場合には、試験会場の会場本部へ申し出ること。
- ⑤ 受験票が試験日2日前までに届かない場合は、入試本部 (TEL0538-45-0118) へ問い合わせること。

郵便はがき

袋井局  
料金後納  
郵便

4 3 7 8 5 5 5

静岡県袋井市豊沢  
2200-2  
静岡 理太郎 様

2024年度 静岡理工科大学 受験票		
入試区分	公称制 一般推薦	写真貼り付け欄 <small>正面上半身無帽、背景なし、3ヶ月以内に撮影。 写真の裏面に、氏名・高校名・生年月日を記入して貼ること。</small> <div style="text-align: center; font-weight: bold;">4cm×3cm</div>
試験日	2023年11月18日	
受験番号	2 1 0 5 0 1	
カナ氏名	リ 太郎 理太郎	
出願学部学科	理工学部 電気電子工学科 1	
※右枠数字は志望順位	理工学部 機械工学科 2	
試験会場	本学	選択科目 物理

← 写真貼付のうえ、当日持参すること。

# 受験上の注意

- 受験生は、試験会場への交通所要時間などを事前に確認しておくこと。
- 試験当日は、受験票 (顔写真貼付) を必ず持参すること。忘れた場合や紛失した場合には、試験会場の会場本部に申し出ること。
- 受験生は、試験開始の20分前までに試験会場の所定の場所に着席し、受験票を机の上に提示すること。
- 携帯電話等は、試験会場に入る前に電源を切ること。なお、時計として使用することもできないので注意すること。
- 筆記用具は、HBより濃い黒鉛筆またはシャープペンシルとプラスチック消しゴムが使用可。
- 建築学科において実技試験が課される選抜種別の場合は、鉛筆 (H、HB、B、2Bなど)、練り消しゴムを用意すること。
- 定規、コンパス、下敷き、電卓、計算機、辞書機能を備えた時計などの使用は認めない。
- 試験会場内では監督者、係員の指示に従うこと。
- 試験開始後、30分を越える遅刻者は入室できない。
- 試験開始後は終了まで退室できない。
- 試験時間が午後までかかるので昼食を持参すること。
- 受験生に対する宿泊施設等の斡旋は行わないので、各自で手配すること。
- 下足のままで入室可能なため、スリッパ等上履きの用意はしなくて良い。

コンビニが  
利用できます

# 2024年度 静岡理工科大学 入学検定料支払方法のご案内

【注意】「WEB出願」の入学検定料払込方法ではありません。

下記のコンビニ端末にてお支払いください

セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON

Loppi

MINISTOP  
Loppi

<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大、  
小・中・高校等お支払い

静岡理工科大学

をタッチし、申込情報を入力して「**払込票/申込券**」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

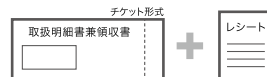
## ① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**



## ② お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。

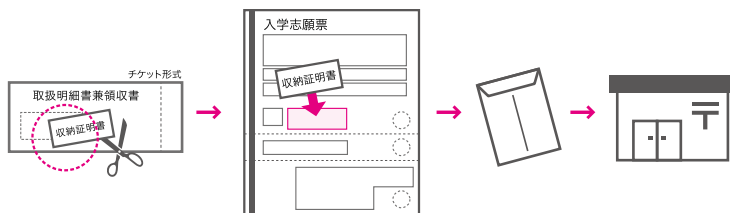


\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

「**取扱明細書**」または「**取扱明細書兼領収書**」の「**収納証明書**」部分を切り取り、入学志願票の「**収納証明書貼付欄**」に添付して郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「**収納証明書**」が黒く変色する恐れがあります。



【入試に関するお問合わせ先】 静岡理工科大学 入試本部 TEL 0538-45-0118 (受付時間)月曜～金曜 9:00～17:00 \*土・日曜、祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター <https://e-apply.jp/> ※コンビニ店頭ではお応えできません。

# 合否案内サービス (PASS-TEL) について

合否結果を、スマートフォン、パソコンを利用した「合否案内サービス」でお知らせします。詳細については以下の通りです。

## □ 利用できる選考

公募制一般推薦、公募制自己推薦

## □ 合否案内サービス利用方法

このサービスはインターネットで合否結果を照会するシステムです。

### (1) インターネットによる照会

- ① スマートフォンまたは、パソコンをご利用ください。(機種条件により利用できない場合があります。事前確認をお願いします。)
- ② 照会は「受験番号」と「暗証番号(誕生日の月日4桁)」を使用します。

### (2) 利用上の注意事項

- ① 受験した学科、受験番号等のお問い合わせにはお答えできませんので、試験当日、座席に貼られている「受験確認票」を必ず持ち帰り、この「入学者選抜要項」とあわせて、合格発表日まで保管してください。また、合否に関する本学への電話等でのお問い合わせも一切受け付けいたしませんのでご了承ください。
- ② 本システムの「誤操作」、「聞き違い」等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認められません。

## □ 合否案内サービスを利用できる選考とその期間

選考区分		案内サービス期間
公募制一般推薦	公募制自己推薦	2023年12月1日(金)～12月2日(土)9時～24時(両日とも)

## □ 合否確認方法

**ステップ1** URLを入力  
<https://www.gouhi.com/sist/>  
(スマートフォン・パソコン共通)



### ステップ2

受験番号を入力

### ステップ3

### ステップ4

誕生日を入力

### ステップ5

結果表示

※図はイメージ図であり、実際の画面とは異なる場合があります。  
※すべて確認された方は、切断してください(終了)。

例) 3月5日→0305

# 入学手続について

合格者には、「合格通知書」「入学手続要項」を郵送するので、熟読のうえ、入学手続期間内に必要な手続を完了すること。なお、期日までに手続を完了しない場合には、入学を辞退するものとして取り扱う。

\*入学手続完了後の変更は原則認めないので注意すること。ただし、他の種別で他学科に合格した場合にはその限りではない。

- 入学手続書類の提出 郵送に限る（締切日当日消印有効）
- 納付金の納入 指定口座への銀行振込に限る
- 入学手続期間

選考区分	入学手続期間（書類・入学金・授業料等納付金）
指定校推薦	12月1日(金)～12月21日(木)
公募制 一般推薦・自己推薦	
専門学校・総合学科給費奨学生推薦	

## 入学金以外の納付金の返還

入学手続完了者で、2024年3月27日までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金を除く納付金を返還する。返還は事務手続きの関係上、4月末日となるので留意すること。詳細については「入学手続要項」を参照のこと。

## 初年度納付金（2024年度）

納付金の種類	入学金	授業料	計
前期	300,000円	620,000円	920,000円
後期	—	620,000円	620,000円

- \* 2年次以降の年間授業料は、2年次1,250,000円、3年次1,260,000円、4年次1,270,000円になる。
- \* 給費奨学生の権利を得たものは、納付費用が変更される。

## 代理徴収金（2024年度入学生—予定額）

後援会費15,750円（1年間分）、学生教育研究災害保険料4,660円（4年間分）、応用ソフトウェア代5,200円（2023年度実績）の合計25,610円を代理徴収する。

## 注意事項

一旦提出された入学手続関係書類および入学金は、いかなる理由があっても返還しないので慎重に手続きをすること。

## ノートパソコンの購入について

本学では、コンピュータ教育の充実を図るため、新入生全員にノートパソコンを所持していただきます。本学が斡旋する機種を希望する場合は、一括払いか分割払いで購入いただけます。【2023年度入学生一括払い実績額 166,000円（税込）】

## 日本学生支援機構の給付奨学金について

独立行政法人 日本学生支援機構の【給付奨学金】へ予約採用の申し込みを行い、採用候補者として決定された方については初年度納付金の金額と授業料の納付時期が異なります。

詳細については、合格通知と共に送付する入学手続要項に記載していますので、確認のうえ、手続きを行う前にご連絡ください。

# 建学の精神と基本理念

本学は、学校法人静岡理工科大学の建学の精神「技術者の育成をもって地域社会に貢献する」に基づき、理念を次のように定めています。

豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性」で地域社会に貢献する技術者を育成する。

(注)「やらまいか」とは遠州地域の方言で「一緒にやってみよう」という意味で、進取の気性に富み、チャレンジ精神が旺盛な遠州人の気質を表現している言葉です。

## ○大学の目的

本学はこの理念に基づき、大学の学則でその目的を次のように定めています。

「本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、科学・技術に関する学術を研究教授し、国際的視野と技術者としての使命感を持った向上心溢れる人材の育成、及び実践的創造的研究により社会に貢献することを目的とする」

## ○3つのポリシー

使命・目的を達成するための具体的な方策として、各学部・学科における3つのポリシーを次のように定めています。

# 静岡理工科大学 アドミッションポリシー (AP、入学者受入れ方針)

## □ 大学全体

- |       |  |
|-------|--|
| 知識・理解 | 理工学又は情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。             |
| 思考・判断 | 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。         |
| 関心・意欲 | 理工学又は情報学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。 |
| 態度    | 主体的に学び、創造する姿勢を有する。                       |
| 技能・表現 | 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。            |

## □ 理工学部

- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 知識・理解 | 理工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。             |
| 思考・判断 | 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。    |
| 関心・意欲 | 理工学の分野に興味をもち、自らチャレンジしようとする意欲を有している。 |
| 態度    | 主体的に学び、創造する姿勢を有する。                  |
| 技能・表現 | 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。       |

### 機械工学科

- |       |   |
|-------|---|
| 知識・理解 | 機械工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。                    |
| 思考・判断 | 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。            |
| 関心・意欲 | 機械工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。 |
| 態度    | 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。                   |
| 技能・表現 | 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。               |

### 電気電子工学科

- |       |   |
|-------|---|
| 知識・理解 | 電気電子工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。                    |
| 思考・判断 | 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。              |
| 関心・意欲 | 電気電子工学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。 |
| 態度    | 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。                     |
| 技能・表現 | 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。                 |



## 物質生命科学科

- 知識・理解 物質生命科学を学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。  
関心・意欲 物質生命科学の分野に興味をもち、未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。  
態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。  
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

## 建築学科

- 知識・理解 建築学を学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 物事を観察・考察し、創造的な思考と判断ができる。  
関心・意欲 諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。  
態度 倫理観や責任感を有し、他分野への協調性を有する。  
技能・表現 図面等や口頭表現を通して自らの提案を他者にきちんと伝えることができる。

## 土木工学科

- 知識・理解 土木工学を学ぶために必要な基礎的な学力を有している。  
思考・判断 物事を多面的に考察し、自らの考えを論理的にまとめることができる。  
関心・意欲 諸領域に関心をもち、新しい知識や技術を持続的に学ぶ意欲を有している。  
態度 主体的、実践的に知識および技術を学ぶ姿勢を有する。  
技能・表現 自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

---

## □ 情報学部

- 知識・理解 情報学を学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができ、課題や間違いを見つけることができる。  
関心・意欲 情報学の分野に興味をもち、自ら企画、設計、開発、課題解決する意欲を有している。  
態度 自ら情報検索して疑問点を解決し、試行錯誤して制作・実践する主体的態度を有する。  
技能・表現 自らの意図を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

## コンピュータシステム学科

- 知識・理解 ソフトウェア、セキュリティ、ネットワーク、情報数理を学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 情報処理の流れを論理的に追うことができ、間違いを見つけることができる。  
関心・意欲 コンピュータシステムの分野に興味をもち、自ら設計、開発する意欲を有している。  
態度 自ら書籍やネットで疑問点を解決し、試行錯誤して制作する主体的態度を有する。  
技能・表現 自らの意図をシステム化し、口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

## コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

- 知識・理解 データサイエンスを学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 情報処理の流れを論理的に追うことができ、課題を見つけることができる。  
関心・意欲 広く社会や科学の分野に興味をもち、地域社会や国内外の問題解決に貢献したいと考えている。  
態度 自ら情報を収集することで疑問点を解決し、試行錯誤して問題解決を図ろうとする主体的態度を有する。  
技能・表現 自らの意図を適切な手法で主体的に多様な人々に説明することができる。

## 情報デザイン学科

- 知識・理解 コンピュータのしくみや、コンピュータと人間・社会の関係を学ぶために必要な基礎学力を有している。  
思考・判断 情報処理の流れや、情報と社会との関係性について論理的に考えることができる。  
関心・意欲 情報やコンピュータに興味をもち、社会での活用法について自ら企画、開発する意欲を有している。  
態度 自ら書籍やネットで疑問点を解決し、自らの考え・企画を実践する主体的態度を有する。  
技能・表現 自らの意図・企画を口頭表現や文章表現で他人に説明することができる。

# カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本学のカリキュラムは、人間として広く社会に目を開く素養を培い、将来の生き方に対する指針を築くためのⅠ類科目群（人間・文化科目：教養教育）と技術者としての素養を培うためのⅡ類科目群（専門基礎科目）及びⅢ類科目群（学科専門科目）（Ⅱ類＋Ⅲ類：専門教育）から構成されています。さらに、各類には、実践を伴う「やらまいか科目」を系統的に配置しています（やらまいか教育）。やらまいか教育の中では、新しい知識を自ら獲得するとともに、「教養教育」や「専門教育」で得た知識を自分のものとし、さらに、やらまいか精神と意欲、自主性、問題解決能力、コミュニケーション能力等の社会人としての基礎力を培うこととなります。「教養教育」と「専門教育」に加え、実践をともなう「やらまいか教育」を3本柱として互いに連携させ、個々の学生の適性・能力に応じたきめ細かな教育により入学した学生を必ず育てることを本学の教育方針としています。これらの教育方針にしたがって、大学全体、各学部、及び学科のカリキュラムポリシーを以下のように定めています。

## □ 大学全体

静岡理工科大学の建学の精神と理念、大学の目的に基づいて、全学、各学部、および各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる能力を身につけるために、必要な科目を系統立てて教育課程の編成を行い、実践する。

## □ 理工学部

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、Ⅰ類科目群（人間・文化科目）とⅡ類科目群（専門基礎科目）を設置する。
- (2) 各学科の特有で専門的な知識を体系的に学び、技能・技術の向上のために学科別のⅢ類科目群（学科専門科目）を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。そのために、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類を通して実験や討論などを実践的に行うPBLの授業を展開すると共に、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。

### 機械工学科

機械工学の基礎（四力学、加工、材料）を理解し、さらに「ものから入る教育」を通して設計・解析・製作・評価の実践的プロセスが身につくカリキュラムを編成する。

### 電気電子工学科

- ・電気に関する基礎学力を身につけた学生を育てるため習熟度別クラス編成を行う。
- ・「電気主任技術者」などの資格取得が可能なカリキュラムを編成する。

### 物質生命科学科

基礎教育科目の徹底的な理解を求め、多くの科目を必修にする。また、学科特有の資格に加えて高等学校教諭一種免許状（理科）を取得可能なカリキュラムを編成する。

### 建築学科

- (1) 建築には、建築計画・意匠、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産といった領域に加え、都市的スケールに及ぶ理解が求められる。
- (2) 上記(1)の統合の上に成立する「建築」を創造するための科目を配置し、一級建築士・二級建築士などの資格取得ができるカリキュラムを編成する。

### 土木工学科

- (1) 土木工学の諸分野（構造・材料・地盤・水理・計画・環境）を体系的に学ぶカリキュラムを編成する。
- (2) 主体的に地域・社会の課題を発見し、他者と連携して課題解決に取り組む実践力を養うためのプロジェクト科目を配置する。

## □ 情報学部

- (1) 研究者もしくは技術者としての確かな社会人基礎力を育成するために、Ⅰ類科目群(人間・文化科目)とⅡ類科目群(専門基礎科目)を設置する。
- (2) 各学科の特有で専門的な知識を体系的に学び、情報を収集・分析・加工・表現・伝達・発信する力の向上のために学科別のⅢ類科目群(学科専門科目)を設置する。
- (3) 科目間の「つながり」を明確化し、系統だったカリキュラムを編成する。
- (4) 主体的な学びの姿勢を身につけ、「知識・理解」、「思考・判断」、「関心・意欲」、「態度」、「技能・表現」を養い、知識やスキルを統合して問題解決につなげていく能力や姿勢を育成する。そのために、Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類を通して実習・演習や討論などを実践的に行うPBLの授業を展開すると共に、学生生活においても、主体性や問題解決能力を培うことが可能な生活環境を設定する。
- (5) 入学から卒業に至る全期間を通して、プログラム化されたキャリア形成教育を実施する。
- (6) 国際的視野を培うため、外国語および外国文化の教育を系統的に実施する。

### コンピュータシステム学科

- ・コンピュータ自身やその理論に関してより深く学ぶことができる科目を配置する。
- ・高等学校教諭一種免許状(情報・数学)を取得可能なカリキュラムを編成する。

### コンピュータシステム学科 データサイエンス専攻

- ・1年次は情報コミュニケーション技術(ICT)についての幅広い理解を中心にデータサイエンスの基礎となる数理分野の理解とデータサイエンスを応用するために必要な幅広い教養を高めていく。
- ・2年次以降はプログラミング、数学などのデータサイエンススキル修得に欠かせない専門能力の修得と理解を進めていく。
- ・実社会への活用を前提に企業と連携した実習、実践演習を行なっていく。またベンダー系外部カリキュラムも積極的に活用していく。
- ・グローバル社会への対応力を育成するために海外研修を積極的に実施していく。

### 情報デザイン学科

学生の興味・適性に応じ、情報学のより広い分野(特に、人間の生理、心理、社会に関係する分野)に関する知識を選択修得可能なカリキュラムを編成する。

# ディプロマポリシー (DP、学位授与の方針)

## □ 大学全体

- 知識・理解 理工学又は情報学についての基礎・専門知識・技能をもち、様々な場面で活用することができる。
- 思考・判断 ものごとを論理的・創造的に考え、社会の多様化、複雑化、国際化に対応しつつ、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 理工学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルや挑戦的な姿勢のもと、自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 他者と協働しつつ、主体的・自律的に学修・課題解決をすることができる。
- 技能・表現 理工学又は情報学を学ぶ過程で修得したスキルを活かして、自らの思考などを、適切な手法で表現・発信することができる。

## □ 理工学部

- 知識・理解 理工学（機械工学、電気電子工学、物質生命科学、建築学、土木工学）の一分野についての基礎・専門知識をもち、技術および技能をものづくりやことづくりに活用することができる。
- 思考・判断 社会の多様化、国際化、複雑化する課題に対して探求心をもちつつ、論理的、創造的な思考ができる。
- 関心・意欲 「ものづくり」、「ことづくり」に挑戦する力のもとで自主的、主体的、実践的に行動することができる。
- 態度 教養・専門知識を修得するため計画的、継続的、自律的に学修をする向上心をもつことができる。
- 技能・表現 発信力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力）と傾聴力を修得し、自らの思考・判断のプロセスを説明することができる。

### 機械工学科

- 知識・理解 機械工学に関する専門知識と技術を修得し、それらの知識と技術をものづくり活動に応用できる。また、機械工学分野における設計・図面化・加工・組み立て・評価といったものづくり活動に欠かせない技術を身につける。
- 思考・判断 社会の発展に機械工学が果たしている役割を充分理解し、従事している仕事から課題を常に見つけ、高い企画力と行動力をもって、積極的に課題解決に取り組むことができる。
- 関心・意欲 科学・技術の進歩と社会ニーズの変化に常に関心をもち、自律的かつ継続的に新しい知識を学ぶ向上心・意欲をもつことができる。
- 態度 機械工学技術者としての倫理観や責任感をもちながら、それを組織活動でも活かせるべく協調性・リーダーシップ等の人間性・態度を身につけることができる。またグローバルな視点で海外の人・組織と関わる態度を身につけることができる。
- 技能・表現 機械工学の方法論に基づき、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明するためのプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力をもつことができる。

### 電気電子工学科

- 知識・理解 電気回路・電子回路の基礎を理解し、ハードウェアとソフトウェア両面からの回路設計やシステム設計などのものづくりを創造的に行うことができる。
- 思考・判断 電気電子工学が社会の発展に対して果たしている役割を充分理解し、光応用技術、情報・通信技術、制御・システム技術、電力・エネルギー技術を用いて課題解決のための根源的、論理的な思考判断を行うことができる。
- 関心・意欲 常にチャレンジ精神をもち、問題解決のための知識修得・学修を自主的、実践的に行うことができる。また、電気電子分野の資格取得にチャレンジすることができる。
- 態度 主体的、実践的に身につけた電気電子工学の知識および技術を通じて、地域・社会のニーズに応えることができる。
- 技能・表現 電気電子工学の方法論に基づき、自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

## 物質生命科学科

- 知識・理解 化学を中心に物理学や生化学、分子生物学に関する素養を身につけ、生命科学・食品科学・材料科学・環境科学・エネルギー科学などのいずれかの分野の知識に基づいて考えることができる。
- 思考・判断 科学・技術と自然・環境との調和を理解することで現在の課題を発見し、未来を創造することができる。
- 関心・意欲 自ら環境・生活・生命・安全に関わる諸問題を解決するための専門知識を求め、自主的に課題に取り組むことができる。
- 態度 環境・生活・生命・安全に関する地域や社会のニーズに柔軟に対応し、かつ倫理的に行動することができる。
- 技能・表現 物質生命科学における方法論に基づき、自らの思考や判断過程を効果的に説明することができる。

## 建築学科

- 知識・理解 建築計画・意匠、建築構造、建築環境・設備、建築材料・建築生産の個々の分野における広範な基礎知識と高度な専門知識を有し、個々の分野を統合しうる技術をもつ人材として、とりわけ地域固有の気候、風土や文化などを活かした都市・建築空間の創造に寄与することができる。
- 思考・判断 建築／都市／地域のスケールを横断し、創造的な思考と判断ができる。
- 関心・意欲 建築学は他領域との関連が高く、扱う領域も広いため、諸領域への関心を高くもち、かつ持続的に新しい知識を得る意欲をもつことができる。
- 態度 建築技術者として、倫理観や責任感を有し、同分野の人のみならず他領域・他分野の人とも高い協調性をもつことができる。地域や社会のニーズに対し想像力のある回答をすることができる。
- 技能・表現 自らの提案を他者・社会にプレゼンテーションする、あるいは発注者・利用者・技術者などプロジェクト関係者との意思疎通を図る、などのコミュニケーション能力をもつことができる。

## 土木工学科

- 知識・理解 人文・社会分野を含む多様な知識とそれらの有機的なつながりを理解し、また、数学・自然科学および情報技術に関する知識、土木工学および防災工学分野における専門知識をもち、実践の場でそれらを活用することができる。
- 思考・判断 教養・専門知識を基に多面的に物事を考える能力とその素養を身につけ、さらにそれらを応用して自らの思考で判断することができる。また、与えられた制約の下で論理的な思考・判断のもと計画的に仕事を進めることができる。
- 関心・意欲 主体的かつ継続的に地域社会に関心をもち、課題を発見し、土木工学および防災工学分野の科学、技術並びに情報を活用して、地域社会の課題を解決するための計画的な調査・分析および解決策の立案ができる。
- 態度 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者の社会に対する貢献と責任に関して理解している。また、自らが社会の一員であることを自覚するとともに、他者との協働の重要性を認識し、そのための基礎的素養としての倫理観・協調性を身につけ、課題解決遂行に向けて取り組むことができる。
- 技能・表現 論理的な記述力、プレゼンテーション能力および討議等のコミュニケーション能力を身につけ、土木工学の方法論に基づき、自らの考えを口頭表現や文章表現によって伝えることができる。

## □ 情報学部

- 知識・理解 コンピュータと人間の感性に対する理解に基づいて、情報科学とICT（情報コミュニケーション技術）に関する深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 情報学の専門知識、高度情報社会の倫理、および普遍的かつ国際的な価値基準をふまえて、ものごとを論理的に考え、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 問題意識と進取の精神をもってものごとを実践し、内省しつつ自らを継続的に向上させることができる。
- 態度 豊かな感受性と知的な創造性の発揮に向けて、主体性をもって他者と協働し、課題に取り組むことができる。
- 技能・表現 情報学から得た技術・技能と態度を活かして情報を収集し、自らの思い・考えを様々なシステムやコンテンツに表現し、発信することができる。

### コンピュータシステム学科

- 知識・理解 ICTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、コンピュータ技術、情報数理、サイバーセキュリティなどについての深い知識を活用することができる。
- 思考・判断 周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、数理的な論理思考力を駆使して解決に導くことができる。
- 関心・意欲 次世代情報技術への強い関心およびものごとへのチャレンジ精神を有し、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。
- 態度 豊かな感受性と創造性を併せもち、自らの成長に努力を惜しまず、何事にも主体的かつ継続的に取り組むことができる。
- 技能・表現 情報学の総合的な技能を活かして、広く情報を収集し、自らの意見や思考プロセスをわかりやすく的確に表現し、情報を発信することができる。

### コンピュータシステム学科データサイエンス専攻

- 知識・理解 情報科学の専門的技術・知識を活用して、ICTと人間の感性が調和する高度情報社会の実現のために、現実社会が抱える課題を、数理的な法則・関係を見抜くことで解決する能力を獲得している。
- 思考・判断 グローバルな視点から、データサイエンスにかかる課題を周囲の環境、技術者倫理や社会的責任等を総合的に判断して問題を提起し、数理的な論理思考力を駆使して解決に導くことができる。
- 関心・意欲 次世代情報技術への強い関心およびものごとへのチャレンジ精神を有し、高い専門性と幅広い教養や視野に基づいて、より良い社会の実現に向け努力するとともに、学業や課外活動において自らをキャリアアップさせることができる。
- 態度 豊かな感受性と創造性を併せもち、自らの成長に努力を惜しまず、身につけたデータから数理的・分析的に考える基礎的能力を活かし、適切な倫理観のもとで、何事にも主体的かつ継続的に課題解決を図る態度を有している。
- 技能・表現 情報学の総合的な技能を活かして、広く情報を収集し、自らの意見や思考プロセスをわかりやすく的確に表現できる。さらに、統計学、機械学習や情報数理を基礎としたデータサイエンス技術を用いて、適切な課題解決策を考案することができる。

### 情報デザイン学科

- 知識・理解 情報科学とICTの基本を理解するとともに、デジタルアート・メディアデザイン、心理・脳・生命情報、経営・社会システムの3分野のうち1分野以上について深い知識をもち、実践の場でそれらを活用することができる。
- 思考・判断 人間の情報行動をはじめとする情報学への理解および高度情報社会に対する責任感をふまえて、情報コミュニケーション技術の応用について論理的に考え、適切に判断することができる。
- 関心・意欲 探求心とチャレンジ精神を常にもち、価値創造と問題解決のために、学修と実践に傾注することができる。
- 態度 自己の成長と社会への貢献を念頭に置き、主体性をもちつつ他者と協働し、課題遂行に向けて取り組むことができる。
- 技能・表現 情報メディアと人間同士の対面を通じた多様な情報を収集・分析・加工・表現・伝達する力に基づいて、自らの考えを的確に示すことができる。

# 志願票の記入例

## ・学校推薦型選抜

### ●第2志望学科

第2志望学部・学科がある場合、✓をつけること。  
[一般推薦・自己推薦のみ]

2006……平成18年  
2005……平成17年  
2004……平成16年  
2003……平成15年  
2002……平成14年  
2001……平成13年  
2000……平成12年

## 2024年度 静岡理工科大学入学志願票

○ ○ ○ ○ ※

試験日	選考区分 (いずれかに✓をつけてください)	志望学部・学科 (いずれかに✓をつけてください)	第2志望学部・学科 (希望がある場合、✓をつけてください) [一般推薦・自己推薦のみ]	試験場
00月00日	<input checked="" type="checkbox"/> 指定校推薦 <input type="checkbox"/> 一般推薦 <input type="checkbox"/> 自己推薦 <input type="checkbox"/> 専門学校・総合学科 給費奨学生推薦	<input type="checkbox"/> 理工学部機械工学科 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学部電気電子工学科 <input type="checkbox"/> 理工学部物質生命工学科 <input type="checkbox"/> 理工学部建築学科 <input type="checkbox"/> 理工学部土木工学科 <input type="checkbox"/> 情報学部 <small>※情報学部は一括募集し、2年進級時に 本人の希望を基に学科配属を行います。</small>	<input type="checkbox"/> 理工学部機械工学科 <input type="checkbox"/> 理工学部電気電子工学科 <input type="checkbox"/> 理工学部物質生命工学科 <input type="checkbox"/> 理工学部建築学科 <input type="checkbox"/> 理工学部土木工学科 <input type="checkbox"/> 情報学部 <small>※情報学部は一括募集し、2年進級時に 本人の希望を基に学科配属を行います。</small>	本学

フリガナ	シズ・オカ リタロウ	性別	男 ① 女 ②
氏名	静岡 理太郎	生年月日	西暦 2005年 7月 16日

出身高校	静岡県立 愛野高等学校	卒業年月	西暦 2024年 3月 (卒業)
高校コード	22999H	課程	1.全日制 4.高卒認定 2.定時制 5.高専 3.通信制 9.その他
学科	1	1.普通科 4.農業科 2.工業科 5.総合学科 3.商業科 9.その他	1

連絡先	〒 437-8555	住所フリガナ	フクロイシトヨサワ
住所	静岡県 袋井市 豊沢 2200-2	電話番号(自宅)	(0538) 45-0118
携帯番号	000-0000-0000	携帯番号	000-0000-0000

※記入不要

《コンビニ「収納証明書」貼付欄》  
コンビニで支払いを行った場合は、「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、こちらに全面のり付け。  
※1. コンビニでの支払方法についてはp11を参照すること。  
※2. コンビニ支払の場合は、以下「振込金受取書」「振込依頼書」への記入は不要です。

金額 30000円



### 2024年度 静岡理工科大学入学検定料 振込金受取書

送り先	静岡銀行 袋井支店	金額	30000円
受取人	静岡理工科大学	依頼人	シズオカ リタロウ

銀行振込後、出願者が切りはなしてください。  
この振込は振込規定にしたがいお取扱いさせていただきます。



### 2024年度 静岡理工科大学入学検定料 振込依頼書

依頼日	西暦 年 月 日	預金科目	普通預金	金額	30000円
送り先	静岡銀行・袋井支店 口座番号 0401104			内	現金
受取人	シズ オカ リ コウ カ ダイ ガク 静岡理工科大学			内	当手
依頼人	志願者氏名(カタカナ)			内	他手
住所	〒 437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2			TEL(0538) 45-0118	
手数料	¥	振込人にてお支払ください。		認印 報告 記載 照合	

納入期限  
2023年00月00日(■)

取扱店へのお願い  
1. 太枠内を打電してください。  
2. 取扱銀行取納印①、②、③に漏れなく押印し、①、②を依頼人にお返しください。

問い合わせ先  
静岡理工科大学 入試本部  
TEL 0538-45-0118

### ●出身高等課程・学科

該当する課程・学科コードを記入する。

課程コード表	
1	全日制課程
2	定時制課程
3	通信制課程
4	高等学校卒業程度認定試験合格者
5	高等専門学校
9	その他

学科コード表	
1	普通科 (理数・英数科含)
2	工業科
3	商業科
4	農業科
5	総合学科
9	その他

銀行窓口で支払いを行った場合は、取扱銀行受付印が押されていることを確認した上で出願すること。

### 静岡理工科大学 収納証明書

コンビニで支払いを行った場合は、「収納証明書」を貼付のうえ、出願すること。

志願票

志願者保管 取扱金融機関保管



# 活動報告書

フリガナ	リコウカ タロウ
氏名	理工科 太郎

*	I	II	III	IV	V	x

受験番号	*
------	---

\*印欄には記入しないこと

## I 高度な技術や能力を持つ者（資格、検定、免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
2022年 6月	情報処理技術者試験 ITパスポート試験	独立行政法人情報処理推進機構
2022年 10月	実用英語技能検定2級	公益社団法人日本英語検定協会
2023年 1月	情報技術検定2級	公益社団法人全国工業高等学校長協会
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

## II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
2021年 8月～2023年 8月	〇〇市社会福祉協議会	グループリーダー	
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

裏面有



Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者

(例：発表会，コンテスト，競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績（順位等）
2022年 4月	春季静岡県西部地区〇〇大会男子個人戦	静岡県〇〇〇連盟	〇位入賞
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者

(例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
2021年 8月	海外インターンシップ参加
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

\*上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー（A4版サイズ）を同封すること

○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

基本情報技術者試験の取得に向け、放課後学習を続けている。

---



---



---



---



---



---



---





静岡理科大学 入学者選抜

# 推薦書

*	I	II	III	×

受験番号	*
------	---

\*印欄には記入しないこと

年 月 日

静岡理科大学長殿

学 校 名

---

校 長 名



---

記載責任者



---

	推薦種別 (該当種別に✓してください)
<input type="checkbox"/>	指定校推薦
<input type="checkbox"/>	専門高校・総合学科給費奨学生推薦
<input type="checkbox"/>	一般推薦

下記の生徒は、貴学の推薦入学者選抜志願者として適当と認め推薦いたします

フリガナ			<input type="radio"/> 理工学部機械工学科 <input type="radio"/> 理工学部電気電子工学科 <input type="radio"/> 理工学部物質生命科学科 <input type="radio"/> 理工学部建築学科 <input type="radio"/> 理工学部土木工学科 <input type="radio"/> 情報学部
氏名		志望学部学科  いずれかに○をつけてください	
生年月日	西暦 年 月 日生	卒業年月	西暦 年 月 (卒業見込)

(注) 所見は裏面に記入してください

(推薦所見記入欄)

A large rectangular area with a solid black border, containing 25 horizontal dotted lines for writing.



## 活動報告書

*	I	II	III	IV	V	×

フリガナ	
氏名	

受験番号	*
------	---

\* 印欄には記入しないこと

## I 高度な技術や能力を持つ者（資格、検定、免許など）

取得年月	取得資格	認定機関
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

## II 社会的活動を通じて高い評価を得ている者（例：ボランティア活動など）

活動期間	団体名	団体における役職	表彰事項
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			
年 月～ 年 月			

Ⅲ 課外活動等さまざまな分野で高い評価を得ている者

(例：発表会, コンテスト, 競技会等)

年 月	大会・競技会等の名称	主 催	成績 (順位等)
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

Ⅳ その他具体的な事例で示すことのできる特長を持った者

(例：校内活動等で指導的な役割を果たした者等)

年 月	事 項
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

\* 上記Ⅰ～Ⅳを証明する資料があれば、そのコピー (A4版サイズ) を同封すること

○記載事項について補足が必要な場合や記載事項以外の活動の様子については以下に記入すること

---



---



---



---



---



---



---



試験日	選考区分 (いずれかに✓をつけてください)	志望学部・学科 (いずれかに✓をつけてください)	第2志望学部・学科 (希望がある場合、✓をつけてください) [一般推薦・自己推薦のみ]	試験場
11月18日	<input type="checkbox"/> 指定校推薦	<input type="checkbox"/> 理工学部機械工学科	<input type="checkbox"/> 理工学部機械工学科	本学
	<input type="checkbox"/> 一般推薦	<input type="checkbox"/> 理工学部電気電子工学科	<input type="checkbox"/> 理工学部電気電子工学科	
	<input type="checkbox"/> 自己推薦	<input type="checkbox"/> 理工学部物質生命科学科	<input type="checkbox"/> 理工学部物質生命科学科	
	<input type="checkbox"/> 専門高校・総合学科 給費奨学生推薦	<input type="checkbox"/> 理工学部建築学科	<input type="checkbox"/> 理工学部建築学科	
	<input type="checkbox"/> 理工学部土木工学科	<input type="checkbox"/> 理工学部土木工学科		
	<input type="checkbox"/> 情報学部 ※情報学部は一括募集し、2年進級時に 本人の希望を基に学科配属を行います。	<input type="checkbox"/> 情報学部 ※情報学部は一括募集し、2年進級時に 本人の希望を基に学科配属を行います。		

フリガナ		性別	男 ①	女 ②
氏名		生年月日	西暦 年 月 日	

出身高校	都道府県立高等学校	卒業年月	西暦 年 月	卒業 卒業見込			
高校コード		課程	1.全日制 2.定時制 3.通信制	4.高卒認定 5.高専 9.その他	学科	1.普通科 2.工業科 3.商業科	4.農業科 5.総合学科 9.その他

連絡先	〒	住所	都道府県 市郡区	住所フリガナ (市郡区から)	
		電話番号 (自宅)	( ) -	携帯電話	-

※記入不要

## 《コンビニ「収納証明書」貼付欄》

コンビニで支払いを行った場合は、「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、こちらに全面のり付け。

※1. コンビニでの支払方法についてはp11を参照すること。

※2. コンビニ支払の場合は、以下「振込金受取書」「振込依頼書」への記入は不要です。

金額 30000円



## 2024年度 静岡理工科大学入学検定料 振込金受取書

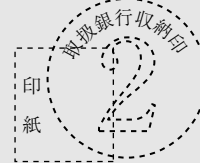
銀行振込後、出願者が切りはなしてください。

## 学校推薦型選抜

この振込は振込規定にしたがってお取扱いさせていただきます。

送り先	静岡銀行 袋井支店	金額	30000円
受取人	静岡理工科大学	依頼人 (カタカナ) 志願者氏名	

この受取書は、領収書に代わるものですから大切に保管すること。



## 2024年度 静岡理工科大学入学検定料 振込依頼書

銀行で切りはなしてください。

## 学校推薦型選抜

## 電信扱

依頼日	西暦 年 月 日	預金科目	普通預金	金額	30000円			
送り先	静岡銀行・袋井支店 口座番号 0401104			内	現金			
受取人	シズ オカ リ コウ カ ダイ ガク 静岡理工科大学			訳	当手 他手			
依頼人	志願者氏名(カタカナ)							
住所	〒							
TEL	( ) -							
手数料	¥	振込人にてお支払ください。			認印	報告	記帳	照合

納入期限  
2023年11月9日(木)

## 取扱店へのお願い

- 太枠内を打電してください。
- 取扱銀行収納印①、②、③に漏れなく押印し、①、②を依頼人にお返しください。

## 問い合わせ先

静岡理工科大学 入試本部  
TEL 0538-45-0118



## 個人情報の取扱いについて

### ①本学における個人情報の保護に関する基本的な考え方

本学では、個人情報が個人の尊厳と権利を保つために重要なものであり、慎重に取り扱われるべきことに鑑み、個人情報の収集、管理、利用、開示、提供のすべてについて、本人の意思が尊重されることが重要であると考えます。そこで、個人情報について、次のとおり取扱うことといたします。

- 1 個人情報保護法などの関連法規を遵守いたします
- 2 教育活動を行うために必要な範囲で個人情報を収集・利用いたします
- 3 個人情報について、本人からの開示、訂正の依頼があった場合は、本人確認を行ったうえで速やかに対応いたします
- 4 個人情報の管理にあたっては細心の注意をもってあたります

### ②受験時にご提供いただく個人情報について

本学受験に際してご提供いただいた個人情報については、以下の目的に利用し、それ以外の目的には使用いたしません。

- 入学試験を行うための資料
- 受験者への結果通知および入学手続関係書類の送付
- 入学決定者の名簿作成およびクラス編成の資料

なお、提供していただく個人情報をもとに個人を特定できないように加工した統計データを作成し、それを教育活動の参考に利用することがありますが、この統計データについては個人情報にはあたりませんのでご承知おきください。

### ③個人情報の保有期間

受験の際に提供していただく個人情報は、入学される方については入学後も使用いたします。

辞退者および不合格者については、法律に規定された期間(5年)保管した後、廃棄いたします。

**静岡理科大学 入試本部**

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢 2200-2

TEL.0538-45-0118

受験生サイト <https://www.sist.ac.jp/navi/>